

「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

団 体 名	おたるヨガフェス実行委員会		
事 業 名	おたるヨガフェス		
実施期間	令和6年9月16日10:00～19:00		
事業の目的及び期待する効果	<p>小樽市民の方は、ヨガにふれて健康作りの一歩へ。 市外の方へは、小樽（銭函・張碓地区）の魅力（自然豊かな森、美しい海、自由に豊かなライフスタイル）をもっと知ってもらい、観光客の呼び込み、移住候補地へつながることを期待しています。＊札幌でのヨガ生徒さんは20代～40代の女性が多く、小樽のナチュラルな暮らしに興味のある世代です。</p>		
実 施 額	事業費	354,750円	助成額 300,000円
事業内容	<p>今年度はオーンズスキー場に変更し、大きな野外会場で実施しました。ヨガが初めての方でも参加しやすいように様々なレッスンを用意（キッズヨガ、ファミリーヨガ、ビギナーのための健康ヨガ等）。その他にリラックスをテーマにした瞑想入門、ヒーリング音楽ライブ等も実施します。子供も楽しめるようにキッズエリアも充実させます（巨大滑り台、トランポリン等）。マルシェエリアも併設しフードやドリンク、雑貨も楽しめました。銭函や周辺の方々と協力して一緒に作れたことが大きな成功要因だと思います</p>		

○事業の内容が分かる「資料やチラシ等」がありましたら添付してください

◎事業の日程について

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
令和6年9月16日	おたるヨガフェス2024イベント実施	300名	500名

◎事業評価について

1. 事業の目的の達成度

(前ページに記載した「事業の目的」を達成することができたかどうか、反省点等も含め具体的に記入すること)

- **健康促進:** ヨガ初心者や幅広い層が参加できるプログラムが用意され、多くの参加者から「ヨガを始めるきっかけになった」との声が寄せられました。
- **家族での楽しみ:** キッズエリアやファミリーヨガが大好評で、家族で参加する姿が多く見られました。
- **リラクゼーション体験:** 瞑想入門やヒーリング音楽ライブが特に評価され、「心が癒された」との感想が多数寄せられました。
- **会場装飾おん世界観:** 銭函らしい自由な空間作りも成功の要因。「独特な世界観で面白い」との感想も。
- **地域の活性化:** マルシェエリアは地域の方に協力してもらい、参加者にたくさん知ってもらうことができました。

2. 事業の効果（参加人数の面から）

（実績の参加人数は想定した人数の何パーセントだったか）※実績数÷想定数で計算

166.6パーセント

（上記の割合となった理由や上記の割合に対する自己評価などを記入すること）

動員数が500名に達した主な要因は、広大な野外会場での開催による開放的な雰囲気と、多彩なプログラムの充実です。キッズヨガやファミリーヨガといった初心者や家族連れに配慮した企画が参加のハードルを下げ、多くの新規参加者を呼び込みました。また、瞑想セッションやヒーリング音楽ライブなど、リラクゼーションをテーマにした内容が好評で、幅広い世代に支持されました。さらに、天候に恵まれたことや地域密着型のプロモーションも動員増加に寄与しました。

3. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

（アンケートや聞き取り等によって把握した参加者の感想や反応を記入すること）※別紙による提出も可

1. 「キッズヨガのおかげで、子どもたちも楽しく参加でき、家族みんなで素晴らしい時間を過ごせました。」
2. 「自然の中での瞑想セッションは本当にリラックスできて心が浄化されるようでした。」
3. 「ヒーリング音楽ライブの雰囲気がとても素敵で、癒されました。」
4. 「マルシェエリアで美味しい食べ物や地元の雑貨を楽しめたのが良かったです。」
5. 「初心者向けの健康ヨガが分かりやすく、ヨガを始める良いきっかけになりました。」
6. 「会場全体の装飾が美しく、写真映えするスポットがたくさんありました。」
7. 「子どもたちが巨大滑り台やトランポリンを楽しんでくれて、親もゆっくり過ごせました。」
8. 「ファミリーヨガで家族全員が一緒に体を動かして、とても良い体験になりました。」
9. 「天候が良く、自然の中で開催されたのが最高でした。また来たいです！」

4. 今後の事業について

(1～3に記入した、事業の達成度・効果・満足度を踏まえ、来年度以降はどのような事業を行っていく予定か、記入すること)

本年度の成果を踏まえ、次年度は以下の取り組みを強化します。

1. 運営体制の改善

駐車場案内スタッフの増員や、キッズエリアのアクティビティ増加などで運営効率を向上させます。

2. プロモーションの強化

SNSや口コミを活用し、地域外からの参加者を増やします。

3. プログラムの拡充

リラクゼーションや健康に関する新企画を追加し、リピーターと新規層の満足度向上を目指します。

4. 地域連携の深化

マルシェエリアを拡大し、地域店舗や農家とのコラボで地域経済活性化を推進します。

これにより、より多くの方々に愛されるイベントを目指します。